



## SDGsアクション in しが 《福田 優》

# まず動いてみよう！ わたしのSDGsへの一歩。



福田さんはSDGsや環境問題に取り組むことの楽しさを熱心に話ってくれた。やらされたり、我慢するのではなく、自らの意志でどんどん動き始める力強さを感じた。

## 今、SDGsや環境問題に取り組めるのが嬉しい！

福田優さんは、小学生の時に読んでいた本で地球温暖化のことを知り、とても不安になった。「おかあさん、地球の気温が高くなると海面も上がって、わたしたちが住むところなくなっちゃうんだって!!どうしよう!」と母親に話したところ、「そんなに心配しなくて大丈夫よ。」となだめられた。しかし、その後も優さんの心配は消えず、ずっと周囲の友達や大人との意識のギャップにモヤモヤしたものを感じていた。

そして高校2年生になった2015年、国連で持続可能な開発目標（SDGs）が採択された。「よし！これでみんなと問題を共有して動き出せる！」と喜んだそうだ。大学1年の夏には模擬国連に参加し、様々な国の人たちと一緒に環境問題を考えた。動物愛護にも関心があり、今、実験的に動物性食品を摂取しない食生活を始めている。

今後は近隣の大学生を中心に仲間を募り、身近な地域の課題解決に取り組みたいという。近々、琵琶湖の岸に流れ着いたプラスチックごみを集め、何かに加工して新たな価値を生み出すことに挑戦するそうだ。いろいろな人たちとお互いに共感できるポイントを見つけ、その接点でつながりながら活動を広めていきたいと話してくれた。



大学1年生時に、近畿大学にて開催された模擬国連に参加し、マケドニア共和国代表として、SDGsを指標に各国の課題解決のための熱い議論を交わしました。

